

研究活動報告

特別講演会 (レイモ助教授)

2001年6月28日(木)午後2時~4時に当研究所で、米国ウィスコンシン大学社会学科助教授のジェームス・M・レイモ (James M. RAYMO) 助教授が「婚前居住形態と結婚タイミング 『パラサイト・シングル』 仮説の検証」 (“Premarital Living Arrangements and Marriage Timing: An Examination of the Parasite Single Hypothesis”) と題された特別講演をされた。レイモ助教授は当研究所の第10回出生動向基本調査の分析に基づく学位論文を書かれ2000年にミシガン大学で博士号を取られたが、特別講演は博士論文の一部に基づくものであった。レイモ助教授の分析結果によれば「パラサイトシングル」仮説はほとんど支持されなかった。なお、今回の特別講演はご家族の関係で来日された機会をとらえて行われたが、関心を集めているテーマであるためか比較的多くの聴衆が来られ、活発な議論が行われた。(小島 宏記)

日本人口学会第53回大会

日本人口学会(嵯峨座晴夫会長)の第53回大会は、2001年6月1~2日、九州共立大学深耕館・自由ヶ丘会館において開催された。本大会は九州共立大学の杉野元亮教授を委員長とする大会運営委員会の尽力によって、多数の参加者があり、二日間にわたって活発かつ実質的な討議が行われ、盛会のうちに幕を閉じた。会長講演、シンポジウム、共通論題(A, B)、テーマセッション(1, 2)、並びに自由論題の報告題目、報告者、討論者は以下のとおりである。

会長講演 「エイジングの人口学」 嵯峨座晴夫 (早稲田大学)

シンポジウム 「21世紀日本の人口問題 - 少子・高齢化の光と影 -」

<組織者> 津谷典子 (慶應義塾大学)

<座長> 杉野元亮 (九州共立大学)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| 1. 経済成長と労働市場 | 加藤久和 (国立社会保障・人口問題研究所) |
| 2. 社会保障と世代間公平 | 兼清弘之 (明治大学) |
| 3. 個人のライフサイクルと家族の変貌 | 高橋重郷 (国立社会保障・人口問題研究所) |
| 4. 再編すむ九州の都市システム - 人口推移にみる都市間成長格差 - | 高木直人 (九州経済調査協会) |

<討論者> 大淵 寛 (中央大学)

河野綱果 (麗澤大学)

共通論題

共通論題A 「補充移民：それは人口減少と高齢化の対策になりうるか？」

<組織者・座長> 河野綱果 (麗澤大学)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. “補充移民”の発想の展開と含意 | 柳下真知子 (城西国際大学) |
|--------------------|----------------|